



ジャンプタイムス

宇美町スポーツ少年団

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-1-1

宇美町住民福祉センター内

Tel 092-933-2784・Fax 933-2741

Eメール umi-machi.j.s.c.a@leo.bbq.jp

編集: スポーツ少年団事務局



歓迎
九州ブロックスポーツ少年団
ミニバスケットボール交流大会
期日 平成26年8月15日(金)～17日(日)

**九州ブロック
スポーツ少年団
ミニバスケット
ボール交流大会**

**原田バンビーズが初参加
沖縄で育んだ「絆」は
一生の宝物になったよ**

平成26年8月15日～17日にかけて、沖縄県那覇市で開催された第34回九州ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会に福岡県を代表して、原田バンビーズが初めて参加しました。チームでの長距離遠征、会場の雰囲気、他県参加チームとの交流という貴重な体験をして、団員達は一回り大きく成長して帰ってきました。沖縄で育んだ「仲間との絆」は一生の宝物になりました。

**沖縄で学んだ二つのこと
六年 桝田有咲 キャプテン**

私は、この大会に参加して二つのことを学びました。

一つ目は、いろいろなチームと戦い、いろいろなプレーを見て、私のプレーの幅が広がりました。

二つ目は、ミスをした時の皆への声かけの仕方です。私はキャプテンで、以前は怒ったり、自分を責めたりしていたけれど、沖縄のチームや九州のチームを見ていると誰もそんなことはしていません。やさしく声をかけてあげていました。

**「走・攻・守」の意味を考えた
五年 長澤 あかり**

私は、沖縄での交流大会でバスケットには色々なことが必要だということを知りました。

まず一つ目は、走るということ。走れば、速攻やディフェンスも出来るし、勢いをつけた後にジャンプシュートをする技などもありました。

最後に守るということ。守れば、相手が速攻している時にも止まれるし、走ることと反対の事がいっぱいできます。

私達のTシャツには「走・攻・守」と書いてあります。私は今まで、ただ走ればいい。成長した子ども達の姿に感無量

指導者 安東 直子



私も17日の試合で声をかけるようにしてみると、みんなのプレーが良くなったので、適切な声かけはとても大事だとわかりました。

交流大会には、私が学ばなくてはいいないことがあり、貴重な体験ができたのでよかったです。

今回、このような大会に参加させて頂き、私達のチームにとって大変貴重な経験となりました。まず第一は、チームの絆がより強くなったこと。六年生が一年生のお世話をしっかりとしてくれ、他学年の子も今までより仲良くなったようです。そして何といっても、子ども達が最高のプレーをやってくれたことです。まだまだ力不足のチームですが、沖縄で試合が出来る喜びになったのだと思います。この経験が今後の練習や試合に必ず役に立つと信じています。私にとつて子ども達と過ごす三日月間は良い思い出となり、体育館を出る時は感無量でした。





極誠会のブログにも沢山アクセスしてくださいネ!

<http://www3.hp-ez.com/hp/kyokuseikai>



いに握手をし「ありがとうございました。ごさいました。」と涙を流しながら健闘を讃えあう姿に心から感動し、これぞ「武道精神」だなと改めて思いました。「押忍」で始まり「押忍」で終わる。選手一人一人が礼儀作法を重んじ、見る方も緊迫した素晴らしい大会となりました。

ファイティングスピリット 格闘技選手権大会を開催 日本実践空手道連盟 極誠会

平成26年6月29日(日)に宇美南中学校体育館において、日本実践空手道連盟極誠会主催による、第14回ファイティングスピリット格闘技選手権大会が開かれ、九州各地より30団体220名の参加がありました。



兄妹で全日本チャンピオン
極誠会所属 森田裕也君・花音さん

他流派との交流大会に参加しました 国際空手道連盟 極真会館 手塚グループ 福岡県本部



平成26年4月20(日)に、みやま市の瀬高体育センターで、第五回平成館全九州空手道選手権大会が開催され、国際空手道連盟極真会館手塚グループ福岡県本部から、年長の部に松田菜央さん、小学二年男子の部に貝原小弥太君、小学四年男子初級の部に滝山一翔君、小学六年女子中級の部に小島美咲さん、小学六年男子初心の部に河崎翔太君、一般の部に川邊秀信さんの六名が参加し、河崎翔太君と川邊秀信さんが見事優勝の栄誉に輝くとともに、他の四人も最後まであきらめない素晴らしい試合を見せてくれました。

極真会館では現在、団員大募集中です。毎週火・木曜日の19時30分～21時00分火曜は、宇美南町民センターで、木曜は宇美南中学校武道場で稽古をしています。是非、一度見学に来てください。

平成26年3月9日(日)に田川市で開催された第24回全日本総流派空手道選手権大会で、日本実践空手道連盟極誠会所属の森田裕也君(高一)と森田花音さん(小5)の兄妹がそろって優勝しました。この大会は全国から572名の参加があり、実践空手道の国内最高峰の大会となっています。

兄の裕也君は、大会二連覇に加え、高校生ながら一般上級重量級で優勝と合わせて大会最優秀選手賞も受賞しました。妹の花音さんは、この大会を含めて、これまでに30大会で優勝しています。今後は世界を目指して頑張っていきたいと抱負を語ってくれました。

また、応援していただいた皆様に心よりお礼申し上げます。



大会を通じて大きく成長した宇美JSCのイレブン

全日本少年サッカー大会福岡県大会で見事三位入賞 九州地区U12サッカーフェスティバルin宮崎に出場

宇美ジュニアサッカークラブ

平成26年6月8日から15日にかけて飯塚健康の森多目的グラウンド他三会場で開催された、「第38回全日本少年サッカー大会福岡県大会」で、宇美ジュニアサッカークラブが見事三位入賞を果たし、8月1日から3日にかけて宮崎総合運動公園で開催された「第2回九州地区U-12サッカーフェスティバル」に出場しました。

九州各県大会の二位と三位とチーム、合計24チームが参加した九州大会に、我々が宇美ジュニアサッカークラブも、福岡県大会で出場370チーム中三位に入賞した輝かしい自信を胸に出場しました。

台風の影響で三日間雨の中で声を出して励まし合いチーム一丸となつて精いっぱい頑張りました。九州の壁は高く結果は18位でしたが、団員一人一人のかけがえない思い出になり、一生の宝物になったと思います。

今回宮崎県に行くに当たって、大勢の皆様のおたのしみご支援と声援を頂き、無事に大会に参加できたことを紙面を借りて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

六年生の夏休みに二泊三日の素晴らしい体験ができました。この経験を活かし、見えてきた課題を乗り越えてさらなる成長をめざし後輩と共にサッカーを楽しんでいきたいと思っています。

宇美スターズカップで準優勝 宇美スターズ球団



5月4日(土)、5日(日)の両日、原の前グラウンド他二会場において「第三回宇美スターズカップ」が開催されました。

この大会は、平成24年度に開催した「宇美スターズ球団創立15周年記念大会」を継承する大会として、中学生の硬式野球リーグであるフレッシュリーグ北部地区連盟に加入している10チームが参加し、盛大に開催されました。

一日目は、三会場で行ったリーグ戦を行い、二日目は、原の前球場で決勝トーナメントを、昭和鉄工グラウンドで交流戦を行いました。

宇美スターズ球団は、パート一位で決勝トーナメントに進出し、見事準優勝に輝き大変有意義な大会となりました。ご共催いただいた宇美町スポーツ少年団本部他、関係者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

昭和の森山開きに参加したヨ！ 宇美ジャイアンツ



毎年4月29日(昭和の日)には、昭和の森一本松公園において、恒例の「昭和の森山開き」が開催されています。

今年は、宇美ジャイアンツも山開きに参加しました。JR宇美駅から監督・コーチ・お父さん・おじいさんと共に昭和の森に向けて出発！道中では笑顔も会話も絶えない部員達！約一時間歩いてあつという間に昭和の森に到着しました。

昭和の森のイベント会場では、焼き鳥や、猪鍋汁を美味しく食べて周辺を散策しました。

宇美ジャイアンツとして初めての山開き参加でしたが、団員達はとも楽しかった様子でした。野球以外のことであつても、一つのことをやり遂げることの達成感や喜びをチーム全員で共有できたと思います。今回の体験をこれからのチーム作りに役立てていきたいと思っています。

中学生団員が中体連で頑張りました

剣道・柔道・バドミントン・陸上競技で大奮闘!

宇美町スポーツ少年団には、小学生団員だけでなく、男子130人・女子53人の中学生団員が活動しています。平成26年度中体連夏の大会では、剣道・柔道・バドミントン・陸上競技で、それぞれの学校を代表し、これまで練習で培ってきた技術や精神力を遺憾なく発揮して大会に臨みました。

宇美町剣友会少年剣道

複数人の高段者の先生からの指導と三中学校の合同稽古でメキメキ上達

宇美町剣友会少年剣道では、平成23年度から宇美町の三つの中学校の剣道部員全員がスポーツ少年団員となり、町立武道館で複数の高段者の先生の指導の下で合同稽古を通じ、めきめき腕を上げてきました。今年の中体連は宇美南中学校で開催され上位進出が期待されましたが、残念ながら決勝トーナメントで敗退し、地区大会への進出はなりませんでしたが、しかし、この大会で素敵な宝物を沢山見つけたようです。

宇美東中学校剣道部 永原 大志

私達宇美東中学校剣道部は、基本技からしっかりと道部は、夏の中体連に向けて日々厳しい稽古に励んできました。大会当日は、あまり一本をきれいに確実に決めるために、まず



では「勝つこと」だけを考え臨みました。結果団体戦は、予選を突破し、決勝トーナ

宇美町少年柔道教室

「私の目標は全国大会出場!」

宇美町少年柔道教室 木下 碧月

小学校二年生から始め、変な目標だとは思ってはいませんが、私の目標は全国大会出場でした。当時は柔道は、勝ちたい気持ちその目標が、それほど大



メントに進むことができませんでした。残念ながら敗退してしまいました。しかし、後輩達にこれまで練習についてきてくれたので嬉しかったです。

宇美南中学校剣道部 藤丸 郁乃

私達宇美南中学校剣道部は、筑前地区大会出場を目標に、練習を続けてきましたが、惜しくも達成する事ができませんでした。



試合を終えて、これまで部活動が続けられたのも、指導してくださった剣友会の先生方や保護者の方々のご協力があったからだと思います。次の玉竜旗大会では、今回の経験を活かして、笑って試合を終えられようと思います。

ではありませんでした。試合で負けて、練習してはまた負けて、また練習するの繰り返しで、必死で練習しました。

小学校六年生で、初めての全国大会出場がかかった県大会に出ました。頑張って三位でした。全国大会出場は叶いませんでした。それからの中学三年間は、目標に向い頑張りました。怪我をして思うように技ができなかったり

が沢山いらつしやいました。そんな先生方のおかげで、多くのことを経験し、学ぶことができました。また、疲れて帰った私に一言「よく頑張ったね。」と声をかけてくれた家族。そしてどんなに辛い事でも一緒に乗り越えてきた仲間達。そんな存在が私の大きな支えになりました。これからも剣道を通じて学んだことを活かして、どんなに高い壁も乗り越えていきたいと思います。

宇美町初心者バドミントンクラブ

初めての中体連で学んだことは
きつと将来の糧となる！

宇美町の中学校にはバドミントンの部活動はありません。しかし、宇美町初心者バドミントンクラブでは、中学生になってもバドミントンを続けたいと思っている団員の指導をつづけ、中体連の大会に所属する中学校の代表として参加しています。

中体連を終えて

井上 美咲

初めての中体連、私
は開会式から緊張して
体育館に立っていました。
た。なぜなら、対戦相
手が数々の大会で優勝
していることを知って
いたからです。でも、
大会の朝、母から「ど
も、それに負けず私も

一生懸命動いて力いっ
ぱいラケットを振りま
した。結果は負けてし
まいましたが一生懸命
試合をしたので悔いは
残っていません。
強い人たちは私の何
倍も努力して練習をし
ていると思うので、私
も負けずに練習を続け
ます。そして後にある
新人戦に向けても頑張
りたいです。



宇美町初心者バドミントンクラブで練習に励む、宇美中学校一年生の井上美咲さん(左)と同じく沖村綺奈さん(右)

中体連で学んだこと

沖村 綺奈

私が中体連で学んだことは、「努力をする
こと」です。私は、サ
ーブが原因で負けてし
まいました。中体連で
少しずつ打つ場所を変
えてみましたが、やつ
ぱりほとんど入らず
練習不足を痛感しまし
た。そこで次回からは
サーブを特に頑張ろう
と思います。

私は、中体連で学ん
だ「努力」ということ
と一勝もできなかった
悔しさをバネにして、
次回の大会である、新
人戦に挑みたいと思っ
ます。

部活動とスポーツ少年団との連携 モデルが宇美町には沢山あります

宇美町スポーツ少年
団には、男子130人、女
子53人の中学生団員が
活動しています。生徒
全体の加入率でみると
男子の約24%、女子の
10%が加入しているこ
とになります。この数
値は年々高くなってき
ています。

UGTCジュニア陸上教室

部活動とクラブとの連携について

UGTCジュニア陸
上教室は、昨年までは
主に小学生の活動を中
心に行っていました。が
今年度から中学生の活
動も本格的に行うよう
になりました。

それは、小学生の時
に陸上競技を頑張る、
中学生でも陸上競技を
続けたいという団員達
の環境を大きく崩した
くないという、指導者



自分のやりたい種目
が部活動として存続し
ていないことも珍しく
はありません。高校に
ついては同様な問題が
生じており、スポーツ
少年団は、学校部活動
だけではすくいきれな
い中学生や高校生の地
域での受け皿となる必
要があります。

今後、日本スポーツ
少年団で育成・登録し
ていて有資格指導者に
ついては、部活動の外部
指導者として活躍でき
るような連携を深めて
いく必要があります。

宇美町スポーツ少年
団には、部活動とスポ
ーツ少年団の「連携」
のモデルとなる単位団
がいくつもあります。
その一端を知ってもら
おうと、今回の特集企
画を組んでみました。

と保護者の想いも大き
く影響しています。

町内の中学校で、陸
上部がある学校は、一
校だけです。そこで、陸
上部のある学校とは、
顧問の先生と連携を
取り、部活動とクラブ
の両立を行うことが出
来ています。また、陸
上部のない学校とは、
クラブの練習を中心に
活動しながら、学校の
協力を得て中体連に
参加しています。

そのような状況の中
今年度はクラブに所
属する中学生4名が中
体連陸上競技大会に出
場しました。結果は以
下のとおりです。

まだ、みんな中学一
年生！今後の活躍が
楽しみです。

- *糟屋区大会 (6月25日・博多の森陸上競技場)
 - 1年女子 100m 3位 小幡 紀子 (宇美中)
 - 共通女子 200m 9位 小幡 紀子 (宇美中)
 - 1年男子 100m 9位 原田 青空 (宇美南中)
- 以上3種目2名が、筑前地区大会に出場。
- *筑前地区大会 (7月22日・博多の森陸上競技場)
 - 1年女子 100m 7位 小幡 紀子 (宇美中)
- 惜しくも県大会出場 (6位以内) ならず！



開会式では和太鼓の演奏が私達を迎えました

二日目は、朝の五時半に起床して、ラジオ体操を行い朝食を食べました。次はバスに乗って熊取町のひまわりドームでSHIPS活動をしました。

三日目はキャンプファイヤーをしました。

僕は、このような体験をしたことが無かったので、いろんな体験ができてよかったです。

大阪で見つけた仲間との絆

合気道祥雲塾 田中 和君が全国スポーツ少年大会に参加

僕は、初めて全国スポーツ少年大会に参加しました。

まず最初に、久留米市の参加者と合流して新幹線に乗りました。車内では動画を見たりルービックキューブをしました。一日目は、大阪に着いて貝塚市の

全国大会に参加して 田中 和

8月2～5日にかけて大阪府貝塚市・熊取町で開催された「リーダーズアクション2014第52回全国スポーツ少年大会」に福岡県代表として合気道祥雲塾から田中和さん(小6)が参加しました。SHIPS活動や交換交流活動、野外活動などの盛り沢山のプログラムを楽しみました。



九州ブロックスポーツ少年大会

夏休み最高の思い出を作ってきたよ!

今度は私達が受け入れを行ってみたいな



キャンプファイヤーは各県の出し物で大盛り上がり



8月10～13日にかけて佐賀県唐津市の波戸岬少年自然の家で開催された「第46回九州ブロックスポーツ少年大会」に、福岡県代表として合気道祥雲塾から寅田紗也香さん(小5)と八戸虹美さん(小6)が参加しました。軽スポーツや交換交流活動、バーベキューやキャンプファイヤーなど沢山のプログラムを楽しみました。

私は、九州ブロックスポーツ少年大会で佐賀県の波戸岬少年自然の家に三泊四日で行きました。そこには、九州各県からスポーツ少年団の人たちが集まっ

楽しかった九州ブロックスポーツ大会 合気道祥雲塾 5年 寅田紗也香

私、全員で130人でした。この大会では、いろんなレクを楽しみました。二日目には、インディアアカやドッチビー、カッターボートなどをしました。三日目は、ウォークラリー

四日目は、もう帰る日だけど、少し名護屋城博物館見学をしました。いろんな人と友達になれたし、とても楽しい大会でした。

リーダー会の人達ってすごい!

全国や九州ブロックスポーツ少年大会の企画や運営をしているのは各都道府県のリーダー会のメンバーで、大会を盛り上げ、成功させるために寝る間を惜しんで活動してくれています。

大会の参加者達も、献身的に活動し、大会を支えてくれた佐賀県スポーツ少年団リーダー会のリーダー達

今回参加した二人も福岡県リーダー会に入って、再来年に福岡県で開催される九州ブロックスポーツ少年大会で、九州各県から参加する人達の受入を行い沢山の友達をつくって欲しいと思います。



カッターボートにチャレンジ



今回のハイキングは学芸員の説明を受けながら史跡を巡り、千三百五十年前の歴史ロマンを体感してもらいます。みんな「こんなに凄い史跡が宇美町にあったのか。」と、きつと驚くと思います。

焼米ヶ原で宝探しやレクリエーションも企画しています。

沢山の団員に参加して欲しいと思います。

実践武道空手「拳武会」
森和（のどか）さんが奮闘中



平成26年4月から、実践武道空手拳武会ジュニア指導員の森和（のどか）さんが福岡県立須恵高等学校で、新たにフルコンタクト空手部を作りました。

高校で新たにクラブを立ち上げたいと思ってもなかなか実行には移せませんが、数年間実践空手の修行に励み、また、拳武会の稽古で下級生団員達を指導していく中で自分自身に自信が付いてきたからこそ、実行できたのだと思います。森さんが卒業しても続いていくようなクラブに育つよう皆さん応援よろしく願います。

実践武道空手 拳武会では、空手のみに収まらず、社会に出ても自信を持つて自分の考えで行動出来る子ども達を育てる事も目標としています。ぜひ一度見学に来てください。

～宇美町のお宝再発見！！～
特別史跡大野城跡史跡散策ハイキング
大野城跡・水城跡他関連史跡の
世界遺産登録を目指そう！

平成26年9月21日（日）に福岡地区スポーツ少年団主催の特別史跡大野城跡中跡散策ハイキングを開催します。この事業が大野城跡や水城跡、基山町の基津城跡等の関連史跡と共に、世界遺産登録へ向けた第一歩にしたいと考えています。

四王寺県民の森には今から約千三百五十年前に百済（現韓国扶余郡）から逃れてきた高官から技術指導を受けて築造された、日本最古の朝鮮式山城である大野城跡があります。

大野城跡は国の特別史跡に指定されています。言い換えるならば“超国宝級”の史跡で百間石垣をはじめとした多くの石垣や全長8kmにも及ぶ土塁に囲まれた要塞です。70基にも及ぶ高床式倉庫の礎石群も確認されており大量の食料や武器が貯蔵されていました。現在でも焼米ヶ原では炭化した焼き米が出てきます。戦の時は太宰府政庁の役人が逃げ込めるようになっていました。恐らく皆さんの455世代前の先祖が大野城の築造に携わって



原田バンビーズ
監督 志多田克彦さん

志多田さんは以前ソフトボールチームのメッツの指導者をされていましたが娘さんが原田バンビーズに入ったことをきっかけにバンビーズの指導者になりました。

バスケットボールは未経験でしたが、大変研究熱心な方で、いち早く認定員資格や審判員資格を取得するとともに、ミニバスケット

ボールの指導法もすっかり学習され、団員はもちろん他の指導者や育成母集団からも絶大な信頼を得ておられます。

指導のモットーとしては、中学生や高校生になってもバスケットを続けてもらうことを一番に考え、宇美南中学校女子バスケットとの連携を強化するために、外部指導者の鐘川さんとの頻繁な情報交換や合同練習会はもちろん中学生の大会があるときは団員みんなで応援に行ったりするそうです。

その結果、卒業した団員全員が宇美南中学校バスケット部に入学し、後輩達の指導にも気軽に来てくれるようになったそうです。

また、戦術中心の練習をすれば、その時々試合には勝つかも知れませんが、団員の将来を考えると、やはり基本を大切にするとともに、何よりもバスケットを楽しむことに重点を置いて指導を行っているそうです。

「本当の意味でバスケットが楽しい。スポーツ活動が楽しいということを知っている子は、将来高校等で辛い事や苦しい練習にぶつかった時でも必ず乗り越えてくれるんです。」と語られました。

いろんな種目で女子団員も増えてきているよ！どんどんチャレンジしてみてネ！



バンビーズの活動はいろんな行事が盛り沢山で楽しいよ！一緒に活動する仲間を増やしたいと心から願っています！

すてきな単位団紹介 原田バンビーズ



とってもすてきな単位団「原田バンビーズ」は、平成16年に発足後、平成17年から宇美町スポーツ少年団に加盟しました。女子だけのミニバスケットボールチームで、現在は15人で活動しています。ミニバスケットボールは校区ごとにチーム編成をしていて、原田小学校の児童が団員対象者となっています。スポーツ少年団の行事や取材をとおして、団員が明るく元気で、スポーツを楽しんでいる様子が伝わってきます。また、指導者や育成母集団を含めて、大変良い雰囲気の中で活動しており、まさに理想の単位団と言えます。今回はその秘密に迫ってみました。

いろんな活動に取り組むことが 楽しい雰囲気をもっと高めてくれる

昨年のジュニアリーグのジュニアリーグに、原田バンビーズからも沢山参加してくれました。その時のグループワークでは、団員を増やすために、自分達の単位団の楽しいところやダースクールに、原田バンビーズから沢山参加してくれました。その時のグループワークでは、団員を増やすために、自分達の単位団の楽しいところやダースクールに、原田バンビーズから沢山参加してくれました。

また、親子バスケットを取り入れたり、お楽しみキャンプやチャイルドキッチン、地域のお祭りへの参加等の活動で、親も活動を楽しめるように各行事を工夫してあり、楽しい雰囲気を更に高めてくれていると感じました。

バンビーズの楽しい行事を紹介します



今年の3月に宇美町総合スポーツ公園で開催された福岡地区スポーツ少年団駅伝交流大会に出場しました。結果は、見事三位に入賞！去年キャプテンだった安河内あやさんは最終10区で区間賞もゲットしたんだよ。



毎年恒例のお楽しみキャンプ（今年は九州ブロック交流会に参加したので中止！）は筑紫野市の竜岩自然の家で、バーベキューをはじめ、そうめん流しやスイカ割り、おやじの会による怖〜い肝試し大会等々楽しいイベント盛り沢山で開催しています。



おやじの背中には鮮やかな「走・攻・酒」の文字が！

「おやじの会」を結成！
キャッチフレーズは「走・攻・酒」



すてきなロゴが入ったベンチタオルを作ったんだよ！

原田バンビーズでは日常の活動をサポートする育成母集団の中に「おやじの会」を結成して、いろんな行事のサポートや、大会の応援を行うとともに、父親同士はもちろん、指導者との「飲みニケーション」を活性化して指導方針への理解を深め、親も楽しめる雰囲気を作っています。バンビーズでは「走・攻・守」をキャッチフレーズに、カワイイ

◆練習日・場所・会費
場所…原田小体育館
曜日・時間
水・木曜日 (17:00～19:30)
土曜日 (13:00～17:00)
会費…月額千五百円
原田小学校の女子児童のみなさん！体験は随時受け付けています！気軽に遊びに来て下さいね！

ロゴを作っていますが「おやじの会」でも一文字変えて「走・攻・酒」のロゴで、焼酎ビンを手にしたカッコイイTシャツを揃え、大変盛り上がりがあります。育成母集団の活動はお母さん方にお任せになることが多いのですが、活動が楽しいからこそ、これだけ沢山のお父さん方も参加してくれています。父親が娘達と共有できる時間は、本当に限られています。この貴重な時間を大切に地域の中でも永くつながっている会になっているようにです。